

令和元年8月3日

令和元年度「“みなくさまちライブラリー” 夕涼み企画」実績報告書

(1) 開催日時

令和元年7月27日(土) 16時30分～18時

参加人数：7名(子ども2名含む)

(2) 開催場所

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)

ただし途中雨が止んだため、東山道記念公園(JR南草津駅西口広場)に移動し、後半20分ほど公園内で開催。

(3) 企画・進行

立命館大学 伊藤芳治

立命館大学 幡野遥

(4) 開催内容

● 自己紹介

➤ 職員も含め、全員の自己紹介。

● 本の回し読み

➤ 以下の本を1ページずつ回し読み。

・池田まりこ(2009)『ハッピーリレー』河出書房新社。

・中島未月(2008)『「好き」からはじめよう 大切なことに気づく45のメッセージ』リヨン社。

➤ 回し読みをすると、その人の人となりや雰囲気など伝わってくるものがあった。距離が縮まり、参加者同士の親近感が高まった。

● 絵本づくり

➤ 2班に分かれ、くじで以下の6つの担当を決めて実施。

①誰が ②誰と ③いつ ④どこで ⑤何を ⑥どうした

➤ 出来上がった絵本を全体で発表。

➤ 子どももお絵かきに熱中して楽しんでいた。

➤ 大人は調べながら丁寧に描く人、大胆に描く人、可愛く描く人など、ここでも人となりが垣間見えた。

- ぼうずめくり
  - ぼうずめくり遊びを体験し、その後、草津市立南草津図書館の協力により、百人一首に詠まれている風景を本で紹介。
  
- 東山道記念公園へ移動
  - 雨が止んで東山道記念公園に移動できたので、当初予定していた屋外開催を少しだけ実施できた。
  - 以下の詩集を1行ずつ順番に回し読みし、3つの詩を読んだ。
    - ・谷川俊太郎（2018）『バウムクーヘン』ナナロク社。
  - 屋外で開放的な気分の中、詩を楽しみつつ、笑顔が絶えない時間となった。

#### （5）まとめ

今回は雨だったが、館内にレジャーシートを敷くことで、屋外のような気分を味わいながら開催できた。子どもも一緒に参加できる内容で、さらに別の参加者の一人がケージに入れた昆虫を持参してくれたこともあり、話が弾んだ。

終始穏やかで楽しい雰囲気に入れ、本を通して人とつながり、まちに溶け込むきっかけの一つになったのではないかと考えられる。

#### （6）今後の展望

みなくさまちライブラリーのプロセスの中で、今回のイベントは、みなくさまちライブラリーを知ってもらい、且つ公園活用の実現を目指すステップであった。

今後は、ハード面の整備として本棚をつくったり、正式にまちライブラリーとして登録することで、プロジェクトを本格的に実施できる段階にすることを予定している。

参加者との会話の中からは、市民団体の活動場所に「みなくさまちライブラリー」が出張していくことも今後の展望として良いのではないかと、アイデアが出ていた。引き続き、状況に合わせたイベントやワークショップを積極的に公園で開催し、公園の活用を実現しながらまちライブラリーの歩みを進めていくことを考えている。